

第7章 リーディングプログラム

芸術文化振興の目的達成に向け、区は第6章に掲げた施策を推進していきます。

これらの施策をより円滑に行っていくために、まず、きっかけとなる施策を重点的に先行して実施していきます。このきっかけとなる施策の実施に向け、リーディング（先導）プログラムという仕組みを設けます。

リーディングプログラムの推進は、区民等と区（区立芸術文化施設の指定管理者を含みます。）の連携・協力により段階的に推進していきます。そのためには、区民等と区の連携により進行状況を確認していくことが重要となります。

リーディングプログラム設定の視点

視点1 芸術文化活動は、それを行う区民の自発的、自主的な意思、欲求、要求、活力が必要となります。しかし、区民が充実した芸術文化活動を自主的に行っていくには、必要とする情報の入手と、活動を行ううえでの課題を解決していくことができる仕組みが必要です。そのために、区立芸術文化施設が中核となり、区内を中心とした様々な芸術文化情報を体系的に整理し提供していきます。また、様々な担い手の連携・協力のもとに自主的な活動を行ううえでの課題を解決していく仕組みを構築していきます。そして、区民と芸術文化活動をつなぐ、また芸術文化活動を通して区民相互がつながっていくことへの第一段階としていきます。

視点2 地域の芸術文化振興は、芸術文化に親しむ人の芽を育てていくことが出発点となります。このことから、第一に将来の芸術文化の担い手、また地域社会の担い手でもある子どもたちが、芸術文化に接し、親しむ機会の充実に向けた取り組みが必要となります。

視点3 目黒区は芸術文化の専門家が多数居住する地域であるという特色を踏まえ、区にゆかりのある芸術家に接する機会の充実と併せて、これから活躍が期待される芸術家に活躍の機会を提供し、区民の支援のもと将来の芸術家を育てていく仕組みが必要となります。

リーディングプログラム 1 芸術文化活動サポートセンター設置プログラム

区立芸術文化施設での芸術文化に関する調査、研究、情報提供、及びそれらの業務を踏まえた相談体制の充実を図ります。また、施設運営における区民等との連携・協力を推進します。これにより、区立芸術文化施設が区民の芸術文化活動を支援していく拠点（芸術文化活動サポートセンター）として、さらに機能を発揮し、芸術文化活動を通じたコミュニケーション、ネットワークがさらに形成されていく契機としていきます。

1 推進ステップ

準備段階

芸術文化施設・団体との連絡体制の確立

区内及び近隣地域の芸術文化施設・団体との間で情報の共有に向けた連絡体制を確立します。

芸術文化情報の把握

区内及び近隣地域の芸術文化情報を積極的に把握していきます。

サポーターの確保

区民の芸術文化活動に関する要望等についてこたえたり、その要望を行政に伝えていく人材を確保し、その力を高めていきます。

実施段階

芸術文化情報の発信

多様な芸術文化に関する情報を広く区民に発信していきます。

区立芸術文化施設運営の区民等との連携・協力の推進

区民等との連携・協力による芸術文化振興の推進に向け、区立芸術文化施設運営における区民等との連携・協力をさらに進めていきます。

芸術文化活動支援相談体制の確立

区民等の連携・協力のもと、把握した情報を活用により、芸術文化活動に関する区民の課題の解決に向けた相談体制を確立していきます。

評価・振り返り

区民の反応を把握・評価し、連携・協力している区民等とともに区民の芸術文化活動支援に向けてさらに必要な事項を把握し、実施していきます。

2 個別プログラム

(1) 目黒区にゆかりのある芸術文化情報（人・団体、催物、施設等）の収集・発信

目黒区にゆかりのある芸術家、区内で行われる芸術文化活動の状況、施設の利用案内、活動団体等目黒区の芸術文化に関わる様々な情報の提供に向け、効果的な情報の収集と発信についての仕組みを構築してきます。

推進方策

目黒区芸術文化情報ホームページの整備【 1 - 1 - 5 】
目黒区に関係する芸術文化に関する人材情報の整備【 3 - 1 - 1 】
芸術文化に関する情報提供体制の確立【 2 - 2 - 5 】

(2) 目黒区近隣地域との連携・協力・交流による芸術文化情報の収集・発信

近隣地域の文化施設や芸術文化活動団体との連携・協力を進め近隣地域を含めた芸術文化情報の収集と提供を実現し、行政区域を越えた芸術文化事業の協力を推進します。

推進方策

区内・近隣地域芸術文化情報ネットワークの形成【 1 - 1 - 6 】【 3 - 3 - 2 】
区内文化施設連絡会（仮称）の検討【 3 - 2 - 6 】

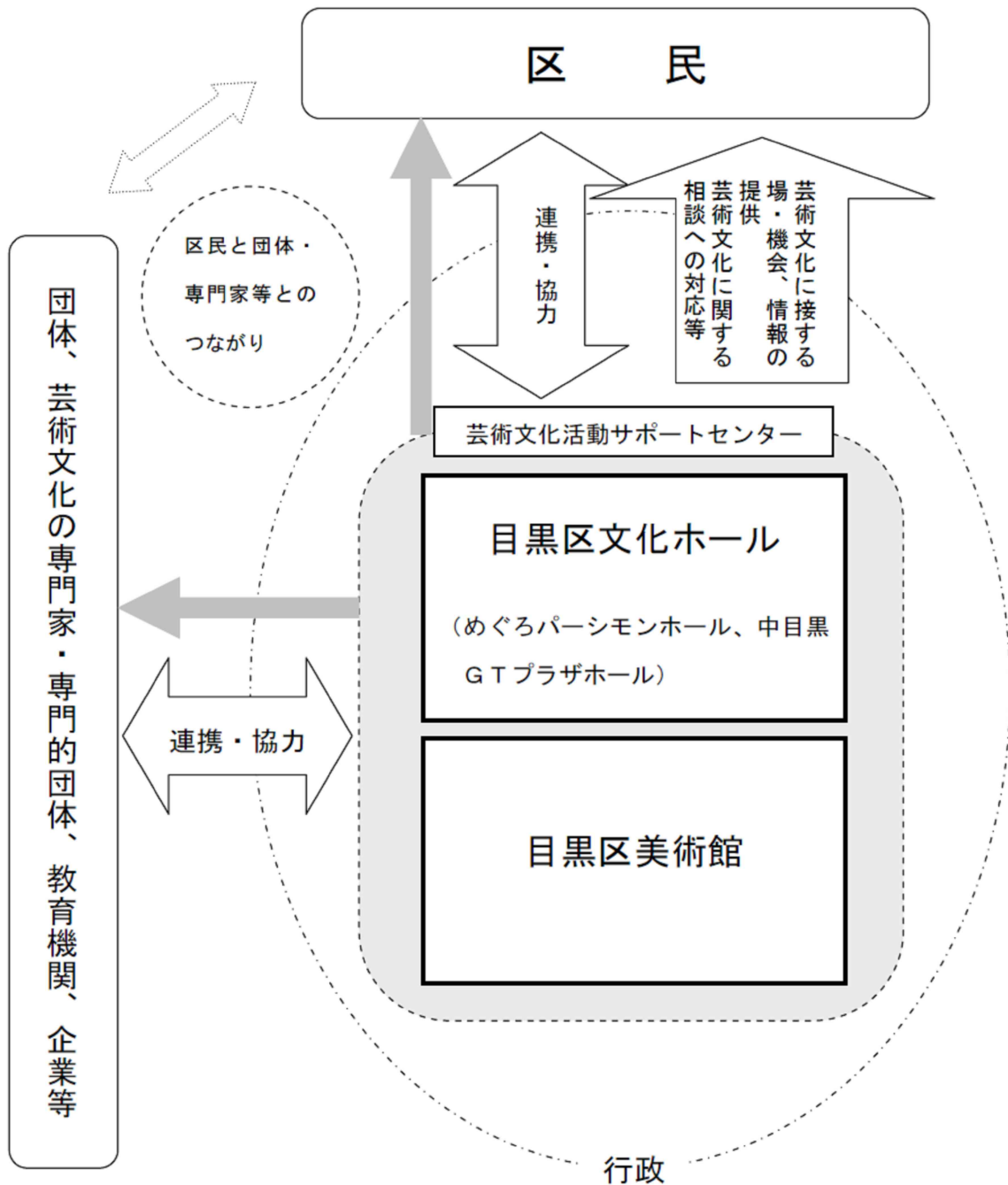
(3) 芸術文化施設運営への区民の参加の促進

区民の芸術文化施設運営への参加を推進することにより、区民に身近な施設運営を実現し、区立芸術文化施設を中核とした区民の芸術文化支援体制の確立と、区民等とのこれまで以上の連携・協力による芸術文化振興を目指します。

推進方策

目黒区美術館のボランティア活動の活性化【 3 - 1 - 2 】
めぐろパーシモンホールボランティア組織の検討【 3 - 1 - 3 】
区民が企画の参加する芸術文化事業実施【 2 - 2 - 6 】【 3 - 1 - 5 】【 3 - 2 - 1 】【 3 - 2 - 3 】
区立芸術文化施設の設備見学事業の実施【 3 - 1 - 6 】

芸術文化活動サポートセンターのイメージ



芸術文化活動サポートセンターの役割

- 芸術文化活動の場・機会の提供
- 芸術文化に関する情報の提供
- 芸術文化に関する相談
- 芸術文化活動による区民相互の交流の機会の提供

実現

- 区民が芸術文化活動を行うきっかけやより充実した芸術文化活動が行える環境の提供
- 芸術文化活動を契機としたコミュニケーション、ネットワークづくりのきっかけの提供

リーディングプログラム2 子どもへの芸術文化振興プログラム～将来の担い手を育てる

学校や地域で行われる芸術文化活動を通し、子どもたちの創造力が引き出され、表現力やコミュニケーション能力が豊かな人に育っていく取り組みを行います。

1 推進ステップ

準備段階

専門家・専門的団体との関係づくり

プログラムの趣旨を理解し、子供に対して芸術を提供・指導する専門家・専門的団体とのつながりを形成します。

サポーターの確保

プログラムの推進を補助する区民を募り、サポーターとして協力の関係を築きます。

子ども、保護者との関係づくり

プログラムの実施に向け、子ども、保護者の理解と協力を得ます。

学校・青少年組織との関係づくり

プログラムの実施に向け、学校、青少年組織の理解・協力と連携の関係を形成します。

専門家・専門的団体と学校・青少年組織等との連携の確立

プログラムの実施に向け、専門家・専門的団体と学校・青少年組織との連携・協力の関係を確立します。

実施段階

プランづくり

専門家・専門的団体と学校、青少年組織等とが協力し、実施に向けたプランづくりを行います。

実施

プランに沿い、専門家・専門的団体、サポーターとともにプログラムを実施します。

評価・振り返り

プログラムの実施結果について振り返り、次のプログラムの実施に生かしていきます。

2 個別プログラム

(1) サポーターの確保

プログラムの実施を支える人材(サポーター)を得ていくため、区民等との協力関係を築いていきます。

推進方策

地域・学校等で芸術文化活動に関わることができる人材の把握【 2 - 2 - 7】【 2 - 3 - 2】
目黒区美術館のボランティア活動の活性化【 3 - 1 - 2】
めぐろパーシモンホールボランティア組織の検討【 3 - 1 - 3】

(2) 芸術家の学校への派遣

芸術家を学校に派遣し、将来の芸術文化の担い手である子どもたちが優れた芸術文化に触れることができる機会をつくります。

推進方策

区立学校への伝統芸能実演家派遣事業の実施(試行)【 1 - 2 - 2】【 2 - 1 - 2】
区立学校への芸術家派遣事業の実施(試行)【 2 - 1 - 1】
芸術家による区立学校教員への芸術文化研修事業の実施【 2 - 1 - 3】

(3) 目黒区文化ホール、美術館を活用した体験学習の実施

目黒区文化ホール、美術館を拠点として、子どもが芸術文化に接し、親しむ契機となる鑑賞、創造の機会をつくります。

推進方策

親子参加型芸術文化事業の実施【 2 - 1 - 11】【 2 - 2 - 10】
--

(4) 地域での芸術文化活動への参加支援

地域で行われている芸術文化活動に子どもたちが参加し、身近なところで芸術文化に触れることができる機会をつくります。

推進方策

地域での芸術文化体験への支援【 2 - 1 - 7】
区立芸術文化施設を利用した子ども・青少年対象プログラムの実施【 2 - 1 - 9】

リーディングプログラム3 芸術家発掘プログラム

新進の芸術家と区民との交流、連携・協力による活動を通し、将来の芸術家育成を支援します。また、区にゆかりのある芸術家の活動の紹介を通し、区民が地域の芸術文化と地域への愛着を深める契機としていきます。

1 推進ステップ

準備段階

芸術家についての調査

将来の活躍が期待される芸術家、目黒区在住等、区にゆかりのある芸術家についての調査を行います。

芸術家との関係づくり

芸術家がプログラムの趣旨を理解し、芸術家と区とが相互理解にたちプログラムを推進していく関係を築きます。

サポーターの確保

芸術家についての調査や公演の支援等、プログラムの推進を補助する区民を募り、サポーターとして協力の関係を築きます。

公共施設等との関係づくり

公共施設等の設置者・管理者との間で理解・協力の関係を形成し、芸術家の活動場所を確保していきます。

実施段階

サポーターの支援、公共施設等の協力のもと、芸術家の活動を紹介する機会を実施します。

評価・振り返り

評価

区民や芸術家の反応を把握し、次のプログラムの実施に生かしていきます。

担い手としての協力願い

芸術家との関係を維持し、目黒区の芸術文化振興の担い手としての協力を要請していきます。

2 個別プログラム

(1) 新進芸術家への活動の機会の提供

新進芸術家と連携・協力し、区立施設や地域での事業を企画・実施し、活動の機会を提供していきます。

推進方策

企業・教育機関その他の公共施設のオープンスペースでの芸術文化活動の実施【 1 - 1 - 4 】
--

新進芸術家の活動を紹介する機会の実施【 3 - 1 - 7 】

(2) 目黒区にゆかりのある芸術家の紹介の機会の実施

区に在住する、又は区にゆかりのある芸術家の発掘・起用を進め、区民への紹介の機会を設けるとともに、芸術家が身近な地域でも活動を行うきっかけとしていきます。

推進方策

区内在住・区にゆかりのある芸術家の活動を紹介する機会の実施【 3 - 1 - 8 】
--